

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 千葉県 千葉市

自治体名：千葉県千葉市

担当課名：千葉市教育委員会学校教育部保健体育課

電話番号：043-245-5947

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	総面積271.76 km <sup>2</sup>
人口	984,874 人
公立中学校数	54 校
公立中学校生徒数	22,054 人
部活動数	536 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

・生徒数は、令和6年度で22,054人と、10年前の平成25年度と比較すると、約2千人減となっており、生徒数の減少傾向が続いている。市の人口推計から推測すると、今後も生徒数の減少が続き、改革推進期間最終年である令和7年度には、2万2千人を下回る見込みである。

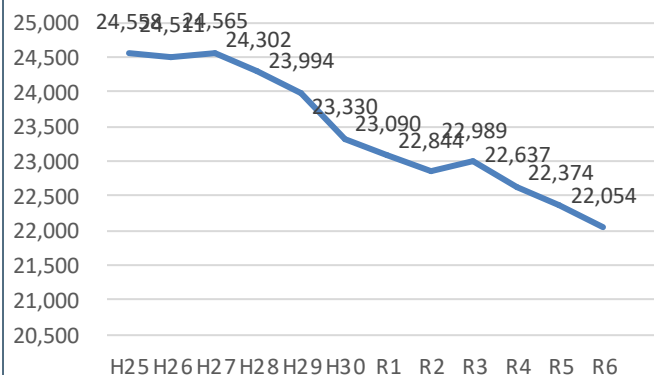
・運動部活動数は、今年度536部活動であるが、年々部員数が減少している。また部活動の規模が小さくなるだけでなく、廃部となる部活動が急激に増えてきている。(R4年度までは廃部は年1~2であったが、5年度は8、6年度は7であり、今後も廃部の増加が見込まれる。)

・運動部活動の学校別の設置状況については、最大で12、最小で2と、学校間格差が激しい。

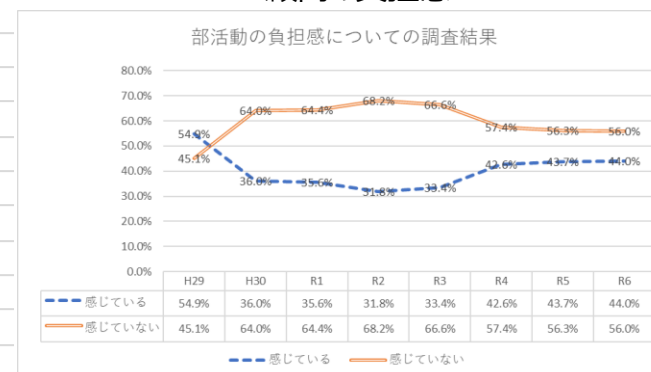
・顧問教員については、対象教員数1,446人のうち1,340人が何らかの顧問(正・副顧問)を担っている。一方で、顧問の専門性は、平均53.2%(野球78.2%、卓球25.6%)となっている。

・顧問を担うことについて、「引き受けたくない」「どちらかという引き受けたくない」と回答した職員は54%であり、さらに負担感については、44.0%の顧問が負担感を「感じている」「とても感じている」と答えており、コロナ禍後から上昇傾向となっている。

千葉市の生徒数推移



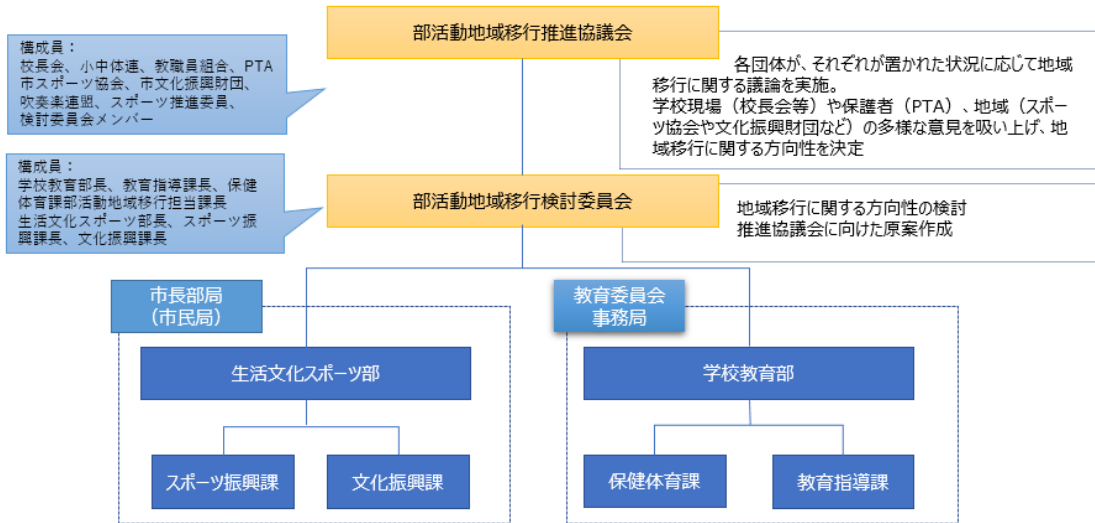
顧問の負担感



# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- ・保健体育課・・・地域移行に関する全体的な計画立案・進行管理  
検討委員会・推進協議会の運営、受託事業の実施、  
大学や企業等と連携した地域指導者の掘起し
- ・教育指導課・・・文化系部活動に関する実態調査・各種調整

#### ◎首長部局

- ・スポーツ振興課・・・競技団体等と連携し、地域人材の掘起し  
地域移行の取組についての周知
- ・文化振興課・・・文化芸術団体等と連携し、地域人材の掘り起こし、  
地域移行の取組についての周知

## 年間の事業スケジュール

令和6年5月	第1回検討委員会開催
6月	実証事業受託事業者決定 (兼職兼業希望調査) (地域指導者募集)
7月	第2回検討委員会開催 (指導者研修)
8月	第1回推進協議会開催 実証事業活動開始(～3月)
12月	第3回検討委員会開催
令和7年2月	第4回 " " 開催 実証事業効果測定アンケート
3月	第2回推進協議会開催

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	40 校	実施した地域クラブ総数	44 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		44 クラブ（68 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	113 人	全体の運営スタッフ数	19 人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
花見川地域野球クラブ	民間事業者	野球	30 回程度	活動場所の使用状況等による	3年：2人 2年：6人 1年：10人	8～3月	犢橋中学校、さつきが丘中学校	2人	8人 (内、兼務8人)	徴収なし	総体、新人戦：部活動 その他：原則、地域クラブ
都賀・千草台地域野球クラブ	民間事業者	野球	30 回程度	活動場所の使用状況等による	3年：0人 2年：9人 1年：15人	8～3月	都賀中学校、千草台中学校	2人	8人 (内、兼務8人)	徴収なし	総体、新人戦：部活動 その他：原則、地域クラブ
花見川地域サッカークラブ	民間事業者	サッカー	30 回程度	活動場所の使用状況等による	3年：2人 2年：16人 1年：17人	8～3月	犢橋中学校、花見川中学校、こてはし台中学校、さつきが丘中学校	2人	8人 (内、兼務8人)	徴収なし	総体、新人戦：部活動 その他：原則、地域クラブ

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

(外 41クラブ)

- 実業団野球チーム・元プロ野球選手による技術教室
- サッカークラブ・野球クラブの生徒に対する走り方教室

- 異世代交流（大学生バレーボールチームによるバレーボール教室）



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- ・本市の中学校や部活動の実態に精通し、取組みに応じた指導や助言を得るべく、元中学校長で元市小中体連会長、さらに市のスポーツ振興部門経験者を統括コーディネーターとして1名雇用し、指導助言体制を整備した（R5年度～）。
- ・実証事業を4案件に分割し、運営団体を複数確保することで、それぞれの実施方法での課題を洗い出すとともに、事業者の育成を図った。

##### 取組の成果

総括コーディネーターのコンネクションにより、民間事業者の実態把握や連携（バレー・陸上）、競技団体とのさらなる連携（卓球）、先進自治体の実態把握等を行うことができた。

実証時事業の期間中、随時の対応以外にも、運営団体の質的向上を目的とし、定期的な情報交換会（期間中3回）の場を設け、進捗状況を把握するとともに、運営上の課題について協議し、自治体（学校）と運営団体の役割分担、適切な地域クラブ運営についての共通理解を図った。

責任の主体の明確化についても、期間中、保険適用の怪我が5件程度発生したが、運営事業者により保険申請等を実施し、問題なく対応できている。また、地域クラブの運営方法について発生した課題についても、運営事業者が主体となって、学校と連携し、対応することで、解決を図ることができた。

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

###### 【総括コーディネーター】

- ・協議会に参加し、指導助言を行う。
- ・学校との連絡調整を実施
- ・指導者の確保に向けた取組（大学、企業等との連携）

##### 今後の課題と対応方針

市内で休日に活動を行う部活動は、運動部・文化部併せて約500と大規模であり、指導者確保などの観点から、一括で引き受ける運営主体の確保が難しいことが想定される。そのため、一定程度の規模に分割して、複数の運営団体を確保する運営方法を検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

①千葉県地域クラブ指導者等指導者人材バンク「ちばクラサポ」を活用し、指導者の確保に努める。

※競技団体や大学、市内ショッピングセンターへのポスター掲出を実施し、登録を働きかけた。

②指導者に対して、資質向上のための研修・巡回指導を実施。

##### 人材バンクの人数

570名（運動・文化）

##### 人材バンクの年齢構成

10代	49名
20代	134名
30代	92名
40代	101名
50代	91名
60代以上	90名
未登録者	13名

##### 登録者属性

①性別	
男性	422名
女性	144名
無回答	4名
②教員免許有	
〃取得予定	75名

##### 種目

野球	73名
サッカー	56名
バレーボール	53名
卓球	37名
バドミントン	36名
陸上競技	64名
ソフトボール	58名
バスケットボール	44名
ソフトテニス	38名
柔道	20名
剣道	27名

##### 資格有無

資格要件は定めておらず、競技経験または指導経験があることを要件としている。

##### 取組の成果

実証事業では、地域指導者として活動している人材約130名のうち、千葉県が運営している地域クラブ活動等指導者人材バンク経由で31名（文化クラブ含め）を採用することができ、人材バンクの有効性を確認することができた。

このことから、まずは人材バンクの登録者数を増やす取り組みを加速させ、県内大学への積極的なアプローチを実施したことで、3月時点で、大学生の登録者が128人となり、全体の約2割強を占めている。

一方で、卓球・バドミントンなどの生涯スポーツとして位置づけられている種目については、指導者確保が難しいため、取り組みを強化する必要がある。

採用種別	人数	割合
千葉市教員	41	31.3%
市からの紹介（人材バンク）	31	23.7%
千葉市の紹介	27	20.6%
その他	14	10.7%
部活動指導員	9	6.9%
民間指導者	2	1.5%
学校からの紹介	3	2.3%
指導者からの紹介	1	0.8%
自社Webサイト	1	0.8%
求人広告（ネット・求人誌）	2	1.5%
合計	131	

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

【公益財団法人千葉市スポーツ協会が主催した研修】

- ①千葉市における学校部活動地域移行とは
- ②中学生指導における心構えや注意事項
- ③パワハラ・セクハラ防止のための事例紹介
- ④連絡ツール「部活アプリ」説明
- ⑤JFAと連携したセーフゲーディングワークショップ

##### 巡回指導の実施

運営団体による定期的な巡回指導を実施し、適切な指導がなされているか、また、指導者が指導方法等で悩んでいないかのフォローを実施。

##### 指導者研修の参加実績

【公益財団法人千葉市スポーツ協会が主催した研修の参加実績】

- ・開催日： 7月27日、28日
- ・開催回数： 2回（上記開催日のいずれかに参加）
- ・参加人数： 18人

##### 受講者の声

- ・研修受講により、中学生への指導経験がある指導者が自身の指導方法を振り返ることができ、改善点を確認することができた。
- ・指導経験が無い者にとっては、中学生指導における心構えや注意事項を研修により学ぶことができ、有効な取り組みとなった。
- ・集合研修であり、またワークショップも実施したため、指導者としての悩み事や心配事などを、指導者間で共有することができ、心理的なプレッシャーを低減できた。

##### 巡回指導の効果

実施団体のうち1事業者は、8月から1月末時点までの5か月間で、巡回指導を一クラブ当たり平均6.7回実施し、指導者の質を確保するとともに、指導者が安心して活動できる体制を構築している。

##### 今後の課題と対応方針

- ・指導者の確保が難しい種目（卓球・バドミントン・ソフトテニス等）について、十分な人数を確保するため、関係団体・大学等と連携し、さらなる周知を図る。
- ・運営団体が複数になることで、各運営団体により研修内容が異なってしまうが、そのような状況下でも、千葉市の地域クラブ指導者としての一定程度の質を確保する必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

- ・市内に日本代表のトレーニング拠点「JFA夢フィールド」を有していることから、JFAのサッカー指導者向けの研修で実施しているセーフガーディングワークショップを地域クラブ指導者向けとして実施した。
- ・県内大学と連携し、ポスター掲示などにより、学生の人材バンク登録を促した。
- ・人材確保に課題を抱えている民間事業者から、地域クラブ指導者の確保に課題解決の提案を受け、民間事業者の人材募集において「地域クラブ指導者社員」の制度を創設、地域クラブでの指導者として活動しやすい環境を構築した。

##### 取組の成果

- ・セーフガーディングワークショップには、地域指導者18名が参加し、JFAによる最新の研修内容を受講することができた。特に、生徒への声掛けについてのワークショップであり、指導者は、自身の今までの指導時の言動などについて振り返るとともに、今後地域クラブ指導時における注意すべき言葉遣いなどを改めて理解することができた。
- ・人材バンク登録者のうち大学生は125人であり、そのうち連携した大学からは81人が登録するなど、高い効果が確認できた。
- ・民間事業者（6社）が令和6年度後半から実施する県内大学等での新入社員採用活動において、「地域クラブ指導者員」の制度を活用している。

千葉県教育委員会 & 千葉県内中小企業  
**部活指導社員採用**  
はじめました



こんな学生との出会いを探しています

- ◆ プロを目指すほどではないが…
- ◆ プロで活躍できるような場がない
- ◆ 公務員より民間企業で働きたい
- ◆ フライベート時間も大事にしたい

**でも!** 好きなスポーツ文化に関わり続けたい! 子どもたちに広めたい!

**働き方** 平日…フルタイム勤務(例:8:30~17:30) 土曜半日…千葉県内中学校部活指導員確保日…休み ※①部活動ハイシーズンは大会引率等の臨時対応の可能性あり ※②毎週土曜の対応が難しい場合は隔週など、学校により調整可能

**雇用形態** 企業との契約…正社員(詳細は各社規定による) 指導員の契約…千葉県もしくは委託先スポーツクラブとの業務委託契約

**給与** 企業との契約…正社員給与(各社求人票をご覧ください) 指導員の契約…時給1,600円程度(2024年9月現在)

国は、部活動と教員の働き方改革を両立させるため、中学校の休日の部活動を地域に移行していく取り組みを進めており、指導者をどう確保するかが課題となっています。一方中小企業は、少子化による人手不足に苦慮しております。この課題を双方解決すべく、千葉県と連携して新たな雇用機会創出のプロジェクトを立ち上げました。

子どもたちを取り巻く環境は近年、少子化により大きく変化しています。人数不足でチームが成り立たず廃部となるケースが増えているのです。そこで、学校単位ではなく地域単位での部活動へと移行し、スポーツ・文化の素養を伸ばし、楽しさを学べる機会を守っていかねばなりません。子供たちの未来の才能を伸ばす若い力を、このプロジェクトで募集いたします。

#### 今後の課題と対応方針

民間事業者の地域貢献として、大きな負担なく、継続的に地域クラブ活動への関りをしていただけるような仕組みや働きかけを行う仕組みを作り上げる必要がある。また、事業者だけではなく、幅広く地域の人材が地域クラブ活動に関与できる気運の醸成とともに、事例の創出・仕組みを構築する必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

- ・担当課長及び総括コーディネーター、指導主事を配置し、教育委員会が主体となって地域移行を推進。
- ・広報活動として、多くの市民の目に触れる機会がある市内ショッピングセンター、潜在的指導者が活動している公立体育館や民間卓球センター等へのポスター掲示を行い、指導者募集と合わせて地域移行に関する取組みの周知を図った。
- ・特定の中学校におけるすべての部活動を実証事業の対象とするとともに、当該中学校の近隣中学校も併せて実証事業に参加し、バスケットボール・野球の2部活動は、合同地域クラブとして活動した。なお、合同での地域クラブは全市ではこの他に14チームで実施している。

##### 移動手段

拠点となる学校での活動については、基本的には通常時と同じ移動手段であったが、合同での地域クラブを行う場合の近隣校の選定に当たっては、公共交通機関を使用せずとも中学生が移動可能な距離に位置する学校を選定した。生徒は、自転車または徒歩で移動し、移動負担を最小限となるよう工夫を図っている。

##### 事務局運営の方法

統括コーディネーター・指導主事の人脈を効果的に活用し、競技団体や大学、元・現中体連役員等と関係を構築し、担当課長が、本市の地域移行に関しての行政説明や進捗状況についての詳細な説明を実施するなど、役割分担を図っている。

##### 取組の成果

- ・合同地域クラブでは、部活動の活動時よりも参加する回数が増えたと回答した生徒の割合が単独地域クラブのそれよりも高く、高い満足度（80%超）を得ることができた。
- ・QRコードを用いてアクセス分析を行ったが、ポスター経由でのアクセスは、数件程度と低調であった。

問 他校の生徒と一緒に活動してどうでしたか。

回答	とてもよ かった	どちらか といえ ばよ かった	あまりよ くな かつ た	よくな かつ た	よくわ か ら ない
回答数	72	25	3	2	14
割合	62.1%	21.6%	2.6%	1.7%	12.1%

出典:実証事業アンケート(生徒向け)

##### 今後の課題と対応方針

関係者の地域移行に関する理解が十分ではないため、本市の地域移行に関する将来像を提示や、実証事業を通じて地域クラブに関する関係者の理解及び興味・関心を得る。設置数が少ない部活動について、当該校以外からの参加を募るなど、選択肢を確保する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実①

##### 取組事項

今年度の実証事業では、通常の活動以外にも、地域企業との連携や地域人材の活用により、専門的な技術講習会や運動部全般に共通するような基礎的なトレーニング（走力・体幹・柔軟等）などを実施した。

##### (実施事例)

- ・都市対抗野球優勝経験もある実業団野球部による技術講習会
- ・元プロ野球選手による技術講習会
- ・インターハイでの優勝経験があるコーチによる走力向上セミナー
- ・地域で講習会を実施しているトレーナーによる体幹トレーニング講習
- ・問題解決志向の座学講座
- ・指導者が所属する大学バレーボールサークルとの練習試合・交流会

##### 活動の詳細

参加人数	約40人	指導者数	11人
属性	JFE東日本硬式野球部		
具体的な内容	JFE東日本硬式野球部によるポジション別技術講習会。 3つの野球クラブから約40人が参加し、約3時間の活動に参加した。		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いつもと違う環境でできたことや、他校の同学年の生徒との交流もよかった</li> <li>● 普段高いレベルでプレイしているJFEの選手に教えてもらった</li> <li>● 普段かかわらない社会人の野球選手に直接指導や話しかけてもらったことがよかった</li> <li>● 修正するコツを教えてもらったことや声をかけてもらい自信につながった</li> <li>● 自分自身、色々ある中で野球の楽しさを再確認できた</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域貢献には積極的に取り組んでいる。野球部に限らず連携できることがあると思う。(JFE)</li> <li>● 大勢の指導者がいたので、普段できないレベル別の指導もできた(兼職兼業教員)</li> <li>● JFEの選手からいろいろと学べ、教わったことを次回からの練習に活かせる。(地域指導者)</li> <li>● 今後、都市対抗野球の観戦などもできれば、好循環が生まれる。(運営事業者)</li> </ul>		
運営経費	<p>・当初の委託費用の範囲内で実施。本事業に関する特別の支払いなどは発生していない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p><b>実施後アンケート(回答者数17人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野球教室は楽しかったですか？ →とても楽しかった(16人/17人)</li> <li>・今後もこのような野球教室を希望しますか？ →希望する(14人/17人)</li> </ul> </div>		

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

##### 取組の成果

内容充実の取組に関しては、アンケート結果では、90%の生徒が参加してよかったと回答があった。

実施内容別では、特に専門的な技術講習会などのイベントの取組について、肯定的な回答が生徒が多かった。次いで、異世代（大学生や高校生）との交流する活動の評価が高かった。そのほか、ストレッチ講習会や座学などについても、評価はよかった。

ない、保護者向けのオンライン講座（中学生年代に必要となる栄養に関する講座や思春期の子育てに関する講座）については、いずれも参加者が少なかった。周知や内容等の課題があるもののニーズが少ないと考えられ、今後の課題である。

##### 今後の課題と対応方針

今年度の取組については、事業者の提案により実施したが、今後は事前に参加生徒からのアンケートなどを通じ、ニーズを把握したうえで、取組内容を検討していく。また、地域からの協力についても継続的な取り組み、また特定の種目ではなくすべての種目で同種の取組が実施できるように、財源の確保とともに、幅広く地域に協力を求めていく必要がある。

	とてもよかった	どちらかといえばよかった	あまりよくなかった	よくなかった	合計
回答	58	49	8	4	119
回答数	49%	41%	7%	3%	

##### 内容充実の取組に参加した生徒の満足度（全体）

回答	とてもよかった	どちらかといえばよかった	あまりよくなかった	よくなかった
回答数	23	12	2	0

##### 専門的な技術講習会に参加した生徒の満足度

回答	とてもよかった	どちらかといえばよかった	あまりよくなかった	よくなかった
回答数	8	5	2	0

##### 異世代（大学生・高校生等）の活動に参加した生徒の満足度

一方で、保護者向けについては、保護者単独でのイベントはニーズが少なかったことから、保護者と生徒が一体となった活動の実施など、他自治体の実施事例を元に検討を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

今年度の実証事業では、一部の部活動のみを対象とした地域クラブ実証事業であるため、費用徴収は行っていない。

そのため、参加者数・指導者数・活動回数等をもとにシミュレーションを実施した。

##### 地域クラブに係る経費

##### ■コストの分析

実証事業の全体経費について、1か月あたりの経費のうち、運営費用・実施費用とで分析を実施。

【運営】 人件費： 735千円

【実施】 諸謝金：1,364千円

交通費： 163千円

合 計：2,262千円

このほかに保険料・雑役務費等が発生

今回の実証事業では検証していないが、完全移行の際に想定されるコスト（①～③が直接生徒へ還元され、④は間接経費）

- ①地域クラブ消耗品（月250～500円程度）
- ②連絡アプリシステム利用料（月100円程度）
- ③決済手数料（月額費用の3.5%）
- ④会費徴収事務管理費

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

令和5年度に実施した意識調査アンケート及び令和6年度の実証事業終了後アンケートでの結果をもとに、受益者負担額を試算。5年度の全体アンケートでは2,000円/月が最も多く、6年度の実証事業参加者を対象としたアンケートでは1,000円/月が最も多かった。

受益者負担として、指導者への諸謝金・保険料・地域クラブ消耗品・連絡アプリシステム利用料など直接生徒へ還元される費用のみとし、地域クラブを運営する間接経費（人件費・労務管理費等）については、公費負担と想定した。

事務局人件費 (A)	指導者諸謝金 (B)	指導者交通費 (C)	総合計 (A+B+C)	地域クラブ実施経費 (B+C)	1クラブあたり運営 経費(45クラブ)	一人当たり費用 (1クラブ21人)	単位：円
734,461	1,364,943	162,115	2,261,519	1,527,058	33,935	1,616	

中間検査時点での費用から算出した1か月あたりの実績。

地域クラブ実施経費は、指導者の謝金と交通費とした。実証事業には45クラブ・979人（一クラブあたり約21人）が参加。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 今後の課題と対応方針

今回の参加費用負担については、実証事業における限られた範囲での検討となっている。本格展開した際には、システム利用費、クラブ消耗品費、会費徴収に関する費用、指導者の労務管理に関する費用、指導者の継続的な確保に関する費用等、検証できていない費用も発生する。

また、費用徴収に当たっては、月会費以外に発生する受益者負担の費

用（大会参加費やそのクラブでのみ使用する備品購入費等で、一律の徴収が難しい費目）の効率的な事務フローを検討する必要がある。

一方で、経済的に困難な状況にある世帯の徴収についても、会費や大会参加費・消耗品費など、どの範囲までを支援するのか、整理する必要がある。

本市では、部活動をベースにした地域クラブの設置を計画していることから、最終的な地域クラブ設置数・配置指導者数を確定する必要があるが、どの程度の生徒が参加するかによって、設置数も変動する。

多くの生徒が参加できる環境（あまり集約化をせず分散状態）の環境と、多くの人数で活動できる環境（集約化を図る）の環境とで、バランスを図る必要がある。

単純集計項目	地域クラブ活動でもっとも重要視する事項							
回答	指導者の人柄や経歴はどのようなものか	指導者は専門的な指導ができるのか	指導者は競技団体などが発行する専門的な指導者資格を保持しているか	活動場所まで一人で行けるか(送迎を必要とする場所でないか)	緊急時やトラブル発生時の対応・体制がしっかりしているか	指導者への定期的な研修や指導状況のモニタリングなどは行えているか	学校や部活動と連携しているのか	指導者が頻繁に変わることなく長期的なスパンでの指導ができるのか
回答数	1,228	1,119	278	1,569	1,273	380	1,045	362
回答	どういった組織・団体が地域クラブを運営しているのか	その他						
回答数	519	62						

会費以外で最も重視することは活動場所であり、集約化とのバランスが重要となる。（出典：令和5年度実施保護者アンケート）

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

##### 資料

本市は、45の地域クラブ運営について、4社に委託を実施し、各社の一か月あた運営費用を算出。

	運営クラブ数	事務局人件費	指導者諸謝金	指導者交通費	総合計	地域クラブ実施経費
A社		194,265	379,023	23,147	596,434	402,169
B社		153,606	221,440	38,845	413,891	260,285
C社		132,450	289,440	32,713	454,603	322,153
D社		254,140	475,040	67,410	796,590	542,450
<b>委託全体</b>		<b>734,461</b>	<b>1,364,943</b>	<b>162,115</b>	<b>2,261,519</b>	<b>1,527,058</b>

算出された1か月あたりの費用について合算し、クラブ数・及び参加人数で割り返して一人当たりの費用を算出

事務局人件費 (A)	指導者諸謝金 (B)	指導者交通費 (C)	総合計 (A+B+C)	地域クラブ実施経費 (B+C)	1クラブあたり運営 経費(45クラブ)	一人当たり費用 (1クラブ21人)
734,461	1,364,943	162,115	2,261,519	1,527,058	33,935	1,616

本年度の実証事業では含めていない消耗品・連絡アプリ・決済手数料等を考慮した将来的な受益者負担合計金額は以下の通り

一人当たり費用	消耗品	アプリ	決済手数料(3.5%)	合計
1,616	275	110	70.0	2,071

なお、算出した合計費用は現時点での想定であり、今後全体経費を算出していく中で、適切な受益者負担を検討する必要がある。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

地域クラブでの活動は原則として学校施設を活用することを前提とした実証事業であり、運動クラブで必要となる体育館・倉庫などの利用について、鍵及び機械警備の適正な使用の可否について取組みを行った。

なお、鍵・機械警備の解除に必要となるセキュリティキーについて、複製等を行い指導者が保有する手法、キーボックスにて学校等と共有する手法を学校事情に応じて採用した。

##### 取組の成果

地域クラブ指導者による鍵の開錠及び機械警備の解除について、当初は操作がうまくいかず、機械警備が発報した事例があったが、数回で慣れ、運用上の大きな問題はなかった。

キーボックスは、学校体育施設開放事業で利用している物があれば活用し、無い場合は、新規に購入し、設置し、すべての施設で部活動と同等レベルの活動ができた。

キーボックス	新規購入数	3件
セキュリティキー	新規購入	1件
校舎・体育館等	合鍵作成	5件

##### 今後の課題と対応方針

休日に出勤していた教員が地域クラブ指導者を地域クラブ指導者として認識しておらず、混乱が生じた事例があった。今後、多くの部活が地域クラブ移行をすることで、外部の指導者が校内で活動することになり、同様の事例が発生する懸念がある。事前に校内で地域クラブ指導者が活動することについて共通理解を図るとともに、名札等を活用し、外見から容易に判別可能となるよう対策を講じる必要がある。

雨天時の活動場所について、学校と事前に共通理解を図っていない地域クラブでは、雨天＝活動中止となってしまった。雨天時でも円滑に活動が継続できるように、普段校舎・体育館の鍵を活用しない外クラブ指導者も含めて、利用方法を確認しておく必要がある。

# 2.実証内容と成果

- ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 ク：その他の取組（教職員の理解を深める取組）

#### 取組事項

##### ★ 報告会の実施

地域展開に関する関係者の理解を深める取組として、全ての教職員を対象とし、今年度の取組みの成果と課題に関するオンライン報告会を実施した。報告会の内容としては、全ての部活動を地域展開した学校の学校長から地域展開による学校経営上の影響、複数の学校から生徒が参加した地域クラブで兼職兼業で指導をした教員や地域展開によって休むことができた顧問の声など、教職員が特に関心がある部分を中心に実施した。

##### ★ 地域移行だよりの発行

地域展開に関する情報提供は校長会等を通じて、または学校への通知を通して行っているが、なかなか直接教職員へ届かないこと・身近に感じる事ができないことが課題であったことから、定期的な周知・広報として「地域移行だより」を発行した。

#### 取組の成果

オンライン報告会で実施することで、多くの教職員が地域展開に触れる機会を確保することができた。また、報告会について、後日オンデマンドでも視聴できるように庁内NWで公開するなど、実施日に視聴ができない教職員へも対象し、学校現場での理解を深めることができた。

地域移行だよりについては、校内での回覧や職員室内で掲示コーナーで気軽に確認できるようにするなど、各学校の実情に応じて取り組んでいただいた。

報告会を聞いて、休日の部活動地域移行について理解を深めよう!!

**部活動地域移行 実証事業 成果の報告**  
～1校まるごとパッケージ土気南中の取組他～

**R6 地域クラブ実証報告会** Cabinet PC Teams によるオンライン開催 ※入室自由・申込不要

**3/13** 16:00～16:30 (15:45～入室可)  
会議ID: 429 672 236 パスコード: 2bpf9e3L

**近い未来の姿 土気南中学校**  
★土気南中は休日に行われているすべての部活動が地域クラブとして活動  
◎越前中との合同も、成果と課題は?  
◎学校経営にもたらすメリットや心掛けていることは?

**合同クラブを指導(中学校教員の声)**  
★他校の生徒を受け入れている指導者  
◎複数校の生徒を教えることで心掛けていることは? など

**小学校教員が指導者に(小学校教員の声)**  
★普段は児童のために、休日は中学生のために  
◎指導への不安や良さ、感じたこと  
◎指導するきっかけ など

**休日が休みになった中学校教員の声**  
★「休日」が休日になった中学校教員の声  
◎地域指導者との連携は?  
◎生徒の戸惑いの声は? など

校長先生に聞く  
**地域クラブの実証事業**

部活動地域移行とは、部活動の代わりにスポーツや文化・芸術活動に継続して「親しむことができる」「チャレンジできる」機会を確保するための取組です。まずは、休日(土・日・祝日)について、「部活動」から「地域クラブ」で活動にする計画を進めています。

**部活動地域移行だより** 職員室回覧用  
～持続可能な部活動のための取組～ No.18 R6.12.9

千葉市の部活動地域移行は、学校部活動と連携した地域クラブです。学校部活動の維持が前提となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として、一緒に整備していきましょう。

＜千葉市の「地域クラブ」は、＞  
・市制50周年の夏祭典、休日の中学校の「部活動」が、学校と連携した「地域クラブ」になる計画です  
・現在準備されている、休日に民間等に活動している部活動が対象です  
・希望する生徒が参加します  
・自分が所属している学校を希望する「地域クラブ」があれば、その「地域クラブ」に参加します  
・十分な練習のため、兼職兼業を中心とした学校と合同で行う「地域クラブ」があります  
・※大会・コンプレックスの参加について・・・「地域クラブ」は受託者負担であり部員全員が必ずしも地域クラブに参加するわけではないこと、学習指導要領に部活動は「学校教育の一環」と記載があり大会はその発表の場であること、など様々な観点から現時点では部員一人数・コンプレックスは学校部活動で出場します

**令和6年度実証事業**  
地域クラブでは受託者負担(兼業費)を想定していることから、参加生徒・保護者が地域クラブに「参加してよかつた」と思う地域クラブ運営を行う必要があります。そのため、今年度の実証事業の中で、事業者の提案による「内容充実を図る取組」が実施されています。今後は、先に行われた取組の様子を紹介します。

**地域クラブ実証事業の取組**  
◎開催地：チヨーストフライトスタ  
◎期日：11月30日(土) 時間：8:00～11:00  
◎場所：インナーハイ40m×20m電子調整施設(設備完備)  
◎内容：スプリント教室・対面交流会  
走り方の技術指導、目ごころサッカー一脚の練習では行けない基本的な走り方のフォームを調整した際、体感のかわりや、足の動きの仕方等  
◎場所：花見川中学校  
◎対象：サッカー①(佐野川、藤巻、こはし合、さつき台) サッカー②(行幸台、野野) サッカー③(藤巻、相田ケ丘)  
◎参加者の声  
- 目ごころのようなドリブルや、U7のドリフトをやった事がないので勉強になった。  
- スプリント技術の向上に繋がった。  
- 基本的な動き方を教えてくれるので勉強になった。  
◎指導者(講師)の声  
- フォームは良くなって良かったが、毎日継続してほしい。  
◎参加した地域クラブ指導者の声  
- ランニングフォームの指導について詳細に説明になった。特に、体感指導は大変勉強になった。  
- 練習場がなかったのが、このような合同で練習する機会があるのはありがたい。

卒業生、教職員の先輩、地域人材、保護者等、身の周りの人材を紹介してください!  
人材バンク「ちばクラブサポ」に登録はこちら →

運営が得意な 保護者団体 部活動指導者 電話:043-346-5947 文化財関係 教育関係 電話:043-346-5981 chibaclub@chiba.go.jp

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組（ICTの活用による情報共有）

##### 取組事項

★ スケジュール管理及び活動状況の共有にスマートフォンアプリを使用  
スマートフォンアプリを用いて、スケジュールや活動状況の共有、出欠確認を実施し、関係者の負担がかからない情報共有を実施する。

##### 取組の成果

スマートフォンアプリを用いることで、地域クラブとしての活動の様子を文字だけではなく、写真や動画などで共有することができ、保護者にとっては活動の様子がわかり地域クラブの安心感につながり、教員にとっては、休日の練習メニューを把握することができ、平日との連携が円滑に実施できた。

また、イベントなどの案内もアプリを活用することで、生徒・保護者へ確実に伝えることができた。

##### 今後の課題と対応方針

- ・学校が使用している保護者用連絡システムと地域クラブで採用したアプリとが異なるため、保護者が両者を混同してしまう事例が一部でた。→**周知**
- ・地域指導者は休日の活動の様子について投稿するが、平日の活動の様子は投稿しないため、地域指導者から平日の様子についても把握したいとの意見があった。→**平日活動についての情報共有の実施方法**

月間スケジュールにより活動日・場所を共有。  
さらに出欠の回答までスムーズに実施可能

投稿日：2024/09/23(月)

2024/09/23 8:00~12:00  
轟町中学校で練習試合

◎良かった点  
後衛⇒ネットに付く前の前衛の足元狙う低いボール  
前衛が取り損ねた後のフォロー

前衛⇒逆クロススライス（理想はそのリターンをハイボレーかスマッシュ）

▲改善点  
後衛⇒ボールへの反応もっと早くできるはず  
（回り込めるのにバックで打ってミス、ショットはショートで返されること多いのにベースラインにいて間に合わない等）

前衛⇒ポジション取った後の動きにメリハリを  
（ボールが出るならサイドは捨てて走り抜ける、サイド守るなら体でコースを塞いで抜かれないこと）

\*おまけ\*  
審判する上で。。。  
ネットやアウトだけでなくフットフォルトやチップ、ネットタッチ等もみなければなりません。  
テニスは流れのあるスポーツです。勝負を分ける大事なポイントを審判がきちんと判定することが大前提です。  
主審の判定するところ、副審の判定するところ、1年生はもちろん、2年生も再度確認しましょう。  
練習試合お疲れ様でした。

活動内容をアプリで報告。  
顧問教員だけでなく、保護者・生徒も確認可能。  
保護者にとっては安心感につながり、生徒にとっては、振り返りなども可能となり、内容の充実が図られている。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

今年度は部活動地域移行推進協議会で、本市にとってふさわしい地域展開（移行）の在り方について、3つのポイントとして「部活動の代替え」「集約化」「拠点化」と掲げて検討を進めてきた。その中で、本市ではまずは休日の地域展開を先行する計画であることから、学校部活動への影響を懸念する声が大きかったことから、次年度の実証事業において、これらのポイントが学校現場へどのような影響を及ぼすのかしっかりと確認し、学校と連携しながら進めていくこととした。

一方で、指導者の掘り起こしに関しては、大学や民間企業・競技団体と連携し、3月14日時点での人材バンク登録者数が575人と目標とする数字であった500人を大幅に上回ることができた。今後は、競技ごとに必要となる人数を精査し、不足する競技について重点的に取り組む必要がある。

また、運営事業者についても、4事業者に委託したが、いずれも問題なく地域クラブの運営管理を実施できており、全市展開について一定程度的見通しが立ったものと考えている。

#### ●成果の評価

実証事業では、合同での活動を16拠点実施した。生徒を対象としたアンケートでは合同での活動に参加した生徒の8割以上が肯定的な意見であり（とてもよかった：62%、どちらかといえばよかった：23.5%）、懸念事項である複数校合同による深刻なトラブルは発生しなかった。

また、満足した理由について問う設問では、他校生徒との交流や大勢での活動ができたからと答えた生徒が多く、小規模化が進む部活動に対する解決策としての地域クラブの有効性が確認できた。

さらに、地域指導者に対する生徒からの評価については、高い評価を得ることができ、懸念されていた「平日と休日の指導者が異なることによる混乱」についても、約97.5%が大きな問題は発生しなかったと答えており、適切な活動ができている。（問題はなかった：58.0%、あまり問題はなかった：39.4%、問題はあった：2.5%）

ただし、教員・指導者へのアンケートでは連携についての負担・課題をあげている声がある一定数いることから、ICTツールの活用や両者の共通理解を図っていく必要がある。

保護者については、参加した部活動の保護者については理解が深まったが、それ以外の部活動の保護者や小学校の保護者については、不十分であることから、学校における説明の機会を確保した。今後も、定期的に情報発信をする必要がある。

地域展開に向けた関係者の理解に関しては、全ての教職員を対象とした成果報告会を実施してきたことは、今後の取組みにとって大きな成果と考えている。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ● 今後に向けて

##### ■ 休日の地域展開に向けた検証

本市の地域展開のポイントとして掲げている「部活動の代替え」「集約化」「拠点化」について、実証事業を通じて生徒・保護者の反応、また学校部活動への影響について検証を行う。

具体的には、

- 集約化の実施：地域クラブとして一定程度の規模を確保し、十分な活動レベルを維持するため、集団競技（野球・サッカー・吹奏楽）や部員数が少ない種目（柔道）については、一つの地域クラブに複数の学校の部活動が参加する運用を拡大する。
- 拠点化の実施：個人種目で部活動として設置数が少ない種目（柔道・剣道・陸上・水泳・新体操・硬式テニス・ヨット）で、通う学校にかかわらず広域から参加できる運用を図る。

このほか、費用徴収の実証として、引き続き実証事業参加生徒からの徴収は行わないが、大会参加費や消耗品費など、生徒から個別に徴収する必要が出た場合に、アプリの決済機能で徴収するなどし、徴収に関する負担・事務フローなどを検証する。

##### ■ 人材確保の取組み

引き続き、大学・競技団体・民間団体と連携し、地域指導者の掘り起こしを実施するとともに、指導者が指導しやすい環境を構築する。また、保護者や地域住民などに対する掘り起こしも、学校と連携しながら取り組む。

##### ■ 休日の地域展開時期についての検討

本市では、令和7・8年度の2か年をかけて、全ての中学校の体育館に空調設備を設置する予定である。設置工事期間のうち、8月から12月ごろまでの4か月間が体育館の利用ができなくなる。そのため、一斉移行するには課題があり、移行時期について再度検討を行う。

##### ■ 平日の地域展開についての検討

改革実行期間での平日の地域展開に向けて、検討を進める。

## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

Q.地域クラブ活動に参加した満足度を教えてください（上段：生徒/下段：保護者）

生徒回答	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	合計
回答数	222	139	27	4	392
割合	56.6%	35.5%	6.9%	1.0%	100%

保護者回答	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	合計
回答数	117	204	58	13	392
満足度	29.8%	52.0%	14.8%	3.3%	100%

Q.平日と休日とで指導者が異なることについて、戸惑いはありましたか？

生徒回答	特に戸惑ったことはなかった（問題なかった）	最初は戸惑ったが、すぐに慣れた（あまり問題なかった）	戸惑って、最後まで慣れなかった（問題があった）	合計
回答数	183	115	8	306
回答数	59.8%	37.6%	2.6%	100%

Q.学校関係者（管理職・顧問）を対象とした、実証事業の満足度？

回答	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	合計
教員回答数	26	49	15	2	92
教員回答割合	28.3%	53.3%	16.3%	2.2%	100%
管理職回答数	6	30	22	1	59
管理職回答割合	10.2%	50.8%	37.3%	1.7%	100%

#### ●参加者の声

##### 中学1年生

毎回の練習がとっても楽しくて、もともと運動は好きだったけど、もっと好きになった！

##### 中学2年生

実力がどんどんと向上していくのがわかってとても嬉しい。いつもと違う練習ができたり、コーチなどのアドバイスを受け、新しい技術をたくさん知れて嬉しい。

##### 地域指導者

最終的な目標設定、指導者間のコミュニケーションが、取れる場の提供などが必要と感じました。

##### 地域指導者

指導期間が8月から3月と非常に中途半端な時期になっているせめて総体（6月）まで指導を継続したい。

##### 地域指導者

平日の部活動の様子が見えなかった。  
顧問の先生がどのような目的、指導をしているのか全くわからないので、生徒がどう感じているのか不安に思う。

## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果・参加者の声

#### ●アンケート結果

Q.人材バンクに登録したきっかけを教えてください（地域指導者）

回答	地域クラブのニュースや話題を見て、興味を持ったため登録した	千葉市のポスター・ちらしを見て興味を持ったため登録した	千葉市のHPを見て登録した	所属する団体（学校・サークル・会社）からの案内で登録をした	学校関係者（校長・教頭・顧問等）から相談があつて登録した	その他
回答数	5	4	0	4	0	3

本市が作成したポスター・ちらし経由の登録が一定数おり、効果が確認できた。

Q. 実証事業はどうでしたか？

回答	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である
回答数	16	19	12	1

不満の理由として、報酬の問題、平日の様子、運営事業者との連絡が煩瑣などをあげる指導者が多かった。

#### ●参加者の声（考察）

全体的には、好意的な声が多かったが、指導者の指導方法が合わない、他校との合同でトラブルがあったといった生徒の声や、指導者からは、学校との連携についての負担、中学生を指導することの難しさなどをあげる声があった。好反応な部分はさらに取組みを進めるとともに、改善可能な点や地域移行について関係者の理解を深める取組などを行い、関係者が満足する形での地域クラブ移行につなげる必要がある。

#### ●参加者の声

##### 保護者

思っていたよりも、専門的なことを教えてもらえて、大変充実していました。指導して下さった方がよかったからだと思います。

最初はお金を払ってまでやるのは考えられませんでした。が、実証事業を終えてすこし考えが変わりました。

##### 保護者

本人は大変だったようですが、保護者としては熱のこもった専門的な指導を受けられたこと、他校の生徒と練習できたのはとても貴重な経験だったと思います、今回の機会をいただいたことにも感謝しています。今後の地域クラブは、何よりも指導者の質の確保が大切だと思います。顧問の先生の負担が軽減され、子どもたちは専門性の高い指導を享受できる、という双方にとってより良いものとなりますように。

##### 学校管理職

地域移行とはいえ、部活動とのすみわけが難しい状況。日曜日の大会引率がまだ教員がつかなければならず、まだ移行には課題はあるかなと感じている。大会運営を完全に教員(学校)から切り離すことの方が優先だと思います。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果・広報資料

#### ■ 競技愛好者に向けた周知啓発

指導者の掘り起こしについては、一定程度の数を確保できたが、特定の種目については、十分ではないことから、対象を絞り、重点的に取り組んだ。競技団体へ依頼し、競技愛好者が大会情報などへアクセスする際に、併せて目にするよう、団体HPへチラシを掲載いただいた。



**なぜコーチ・指導者を募集しているの？**  
いま、中学校部活動が復活しています。少子化の影響などで、学校単位の部活動の維持が困難になりつつあります。そのため、全国の自治体で「部活動の地域クラブ移行」という取り組みが行われています。「学校単位」での活動から「地域」での活動へ、指導者も「教員」から「地域の方」へ、そして「部活」から「地域クラブ」へ移行し、持続可能な仕組みに変えようというものです。

**活動日は？**  
休日（土・日・休日）のいずれか1日（月4回程度）一回あたり3〜4時間の活動です。

**活動場所は？**  
卓球部がある中学校の体育館などです。

**報酬 時給1,600円程度**  
地域クラブとしての活動は実働事業として、令和7年10月ごろから53月までを予定しています。

**指導は未経験・・**  
指導前の研修や活動中の巡回も行い、初めての方でも安心して活動できるようにフォローします。卓球仲間と一緒に活動も可能です。

興味がありましたら「ちばクラサポ」で指導者募集またはお気軽に問い合わせを！  
千葉市教育委員会 043-245-5947  
保健体育課 千葉市 地域移行

【指導者募集（卓球）のチラシ】

#### ■ 市民を対象とした周知啓発

多くの市民が利用するショッピングセンターに指導者募集に関するチラシを掲出し、指導者の掘り起こしとともに、保護者などが地域移行に関する取り組みを具体的に目にする機会を確保した。



**中学生のスポーツ・文化活動への指導者にチャレンジしてみませんか？**

まずは、指導者人材バンクへの登録を

ご協力いただける方は「ちばクラサポ」（千葉県地域クラブ活動指導者人材バンク）へ登録を！ WEB | <https://chiba-partner.spocul-bank.jp/>  
または千葉市保健体育課まで電話（043-245-5947）でお問い合わせを！

**・仕事内容・頻度**  
休日に活動をする中学校部活動の地域移行後のスポーツ・文化活動などで、顧問の代わりとして、中学生に対して競技指導等をしていただくのが主な業務内容です。  
回数は、休日（土・日）のどちらか1日で、1日あたり3時間の指導、月4日（活動回数は相談可能です！）です。

**・時給**  
¥1,600程度

**・備考**  
勤務先は市内各中学校で、活動開始までに、指導者向け研修を受講したうえで、指導に当たっていただきます。  
ちばクラサポに登録した場合でも条件がマッチしないなどの場合は、指導依頼がありません。

千葉市 保健体育課 地域移行の情報はこちらで  
WEB | [www.city.chiba.lg.jp](http://www.city.chiba.lg.jp)  
TEL | 043-245-5947 千葉市 地域移行

【ショッピングセンターに掲出したチラシ】

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【中学生世代の目標の立て方（座学）】



【地元企業の実業団硬式野球チームによる指導】

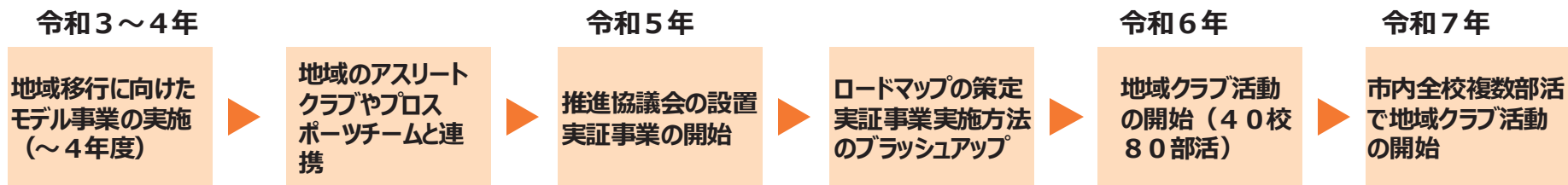


【地域指導者による指導】



【JFAによるセーフゲーディングワークショップ】

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●ステークホルダー

校長会

#### ●経過

8月に実施した推進協議会において、本市の地域移行のポイントとする集約化・拠点化を校長会へ提示

9月～11月にかけて、継続的な協議を実施。(合計7回)

2月 種目・範囲を限定しての実証事業の実施を決定

#### ●実施にあたって生じた課題

本市では、多くが単独での部活動運営がなされており、拠点校部活の導入が十分になされておらず、また集約しての合同部活動も実施されていない。(合同部活動は大会前の一定期間のみの導入事例はある) そのため、地域クラブで拠点化・集約化を実施した場合、学校部活動との区別や整合性などで、学校現場での混乱が懸念されるとの指摘が校長会からあった。

例：拠点となった地域クラブが設置される学校では、部活動でも他校の生徒を受け入れる必要が出てくるのが懸念される。

集約化を実施した地域クラブでの大会出場となった場合、単独でも十分な人数がいる学校(部活動)は、単独での大会出場を望む。

顧問教員の地域クラブに関する理解が進んでいない状況で、部活動への影響が懸念される

#### ●実施内容、工夫した点等

まず、種目や範囲を限定した形で拠点化・集約化を行う実証事業を実施することで、校長会の合意を得ることができた。実証事業で影響を確認しつつ、関係者の理解を得ることとした。

教職員に対する定期的な地域移行に関する情報提供により啓発活動に努めた。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	R 5	R 6	R 7	R 8
休日の部活動 地域移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行・地域連携の実証事業運動部(12)・文化部(3)の15部活を対象とする実証事業</li> <li>・R6実証事業対象校の決定</li> <li>・多様な活動場所の提供について検討</li> <li>・平日部活動地域移行について調査研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行の対象校を拡大し、30拠点程度で実証事業を実施</li> <li>・学校部活以外の活動提供開始</li> </ul>	<p>すべての中学校（54校）で、複数部活の実証事業を実施。</p>	<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>休日部活動 完全地域移行</b></p> </div>
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村 1 部活地域移行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校 1 部活地域移行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校複数部活地域移行</li> <li>・全部活動地域移行完了計画策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日に学校部活動を実施する場合は、<b>原則として部活動指導員等による運用</b></li> </ul>

令和5年度 部活動地域移行推進協議会にて策定